



すずき ひよりちゃん
(6さい)

ケーキさんに なりたいの。すきなのは チョコレートの ケーキ。つくりたいのは フリキュアや かめんライダーの ケーキだよ。



たかもと ひなちゃん
(5さい)

けいさつがんに なって わるい ひとを たいほするの。ちょっと こわいけど おともだちと いうしよに けいさつがんに なるから だいじょうぶ。

摩周丘幼稚園のおともだち



川湯保育園のおともだち



はたけやましゅんたくん
(6さい)

かめんライダーウィザードに なりたいな。わるい てきを たおして みんなを たすけてあげるんだ。きほうを なくしちゃ いけないんだよ。



すずきりゅうのすけくん
(5さい)

おとうさんと おかあさんが やってる アイスクリームやさんで はたらくん。おすすめは チーズの アイ。コーヒーアイスも つくってみたいな。

がんばっているあなたがすき

シリーズ・ひと

環境を整えてあげれば子どもは外で遊ぶもの

摩周ウインターフェスタ誕生の立役者

渡辺 浩彦さん(50歳・泉5)



会場で弾ける子どもたちの笑顔。今年で7回目を迎え、冬のイベントとしてすっかり定着した感のある摩周ウインターフェスタ(20ページ参照)ですが、誕生の陰には、渡辺さんらの熱い思いがありました。

「仲間内で話をしていたとき、冬のお祭りがなくなつたという話が話題になりました。また、最近冬に外で遊ぶ子どもたちを見ないね、子どもたちを外に出したいねという話にもなり、そこから生まれたのがウインターフェスタです。私は「シオン」というまちづくり団体に所属しているのですが、そのシオンと商工会の青年部が中心になって開催しようということ、動き始めたのが6年前のことです。

以来、昨年までは副実行委員長として、今年は顧問として、運営の中心を担ってきました。大変なこと多々あったのではないのでしょうか。

「1年で一番寒い時期の夜中に、水を使つての準備作業は大変です。子どもたちが毎年楽しみにしてくれているから頑張れるのですが、また、天候に左右されるといふ苦労もあります。過去にも、氷のモニユメントが準備期間中に壊れ、作り直したことがありますが、今年

は2回作り直した物が、本番前日の暴風雪で壊れました。前日の最後の準備もできず、当日の朝5時に集まって最後のつめを行いました。でも、こうした様子を町の皆さんが見ていてくれて「大変だったね」など声をかけてくれるんです。楽しみにかけてくれるから、準備も気にかけてくれるのだから、うと、とても励みになります。メンバーは、家族や職場の理解が得られるからこそ作業にあたれますが、年々お手伝いをしてくれる方や企業が増え、支援助と協力の輪が広がっていることもありがたく感じています。心掛けていることはあります。

「長く続けたいと思つているイベントなので、マンネリ化を防ぐため、毎年変化をもたらしようとしています。今年初めでチューブスライダーを行いました。また、チラシなどには載せていませんでしたが、スノーモービル体験も行いました。今後の抱負をお聞かせください。

「環境を整えてあげれば、今の子どもたちも外で遊ぶものなんだなとうれしく思っています。これまで続けてこられたことに感謝しながら、今後も長く続けていきたいと思つています。